

## 市民と市長のタウンミーティング（要旨の報告）

日 時：令和8年2月3日（火） 18時30分～20時00分

場 所：シリウス6階 生涯学習センター610大会議室

テ ー マ：財政健全化

参加人数：12人

開会挨拶、財政健全化ビジョンの概要説明後、参加者からの質疑に応答。

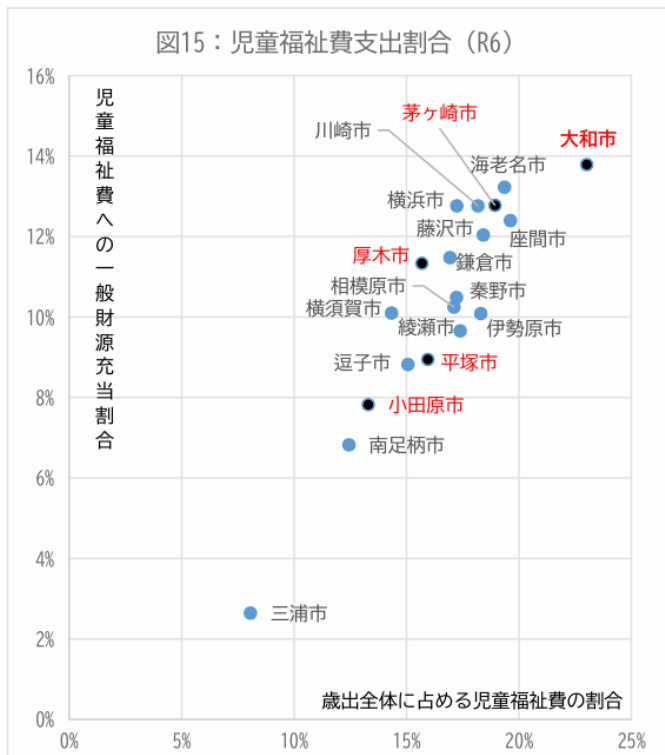
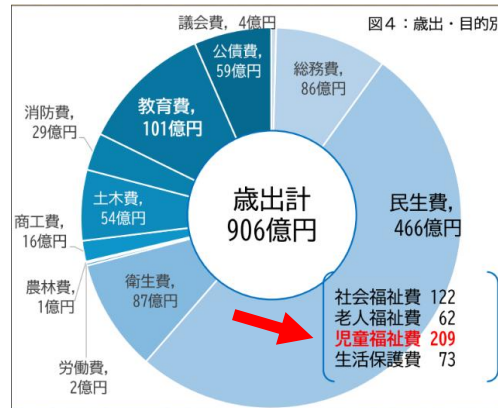
### <質疑応答>

#### 【参加者】

- ・説明資料の円グラフに民生費の4つの内訳がある。
- ・この点について、他市と比べてどうなのか。
- ・児童福祉費の保育所施設型給付以外にどんな経費があるか。

#### 【財政健全化プロジェクトリーダー】

（財政健全化ビジョンP17の図15をスクリーンに投影）



- ・横軸は神奈川県内の市の支出全体に占める児童福祉費の割合を示したもので、大和市は児童福祉費の割合が、神奈川県内で一番多いことがわかる。
- ・縦軸は市民の皆様からいただく市税を主とする一般財源、自由に使えるお金を充当する割合を示しており、ここも一番多くなっている。

**【財政健全化プロジェクト特命担当課長】**

- ・ 児童福祉費のうち保育所施設型給付以外で大きなものは、児童手当、児童扶養手当、こども医療費である。

**【参加者】**

- ・ 支出が多いのは、手当の種類が多いからなのか、それとも対象者数が多いからなのか。

**【財政健全化プロジェクトリーダー】**

- ・ 児童福祉費の支出が多いのは、保育園が令和7年度で92園と県内トップで、それに伴う経費も多くなっている状況である。
- ・ けっして保育園が悪いということではなく、子育て支援としては充実しており、子育て世代を呼び込んでいる喜ばしい部分もある。

**【市長】**

- ・ 前市長時代に子育て王国ということで、待機児童ゼロを目指し、保護者が働ける環境を整えるために保育園を充実させてきた。
- ・ 待機児童ゼロを目指すあまり保育園を多く作ったので、他市よりも多くなっている。
- ・ 10年前は約30園で予算が約30億円、今は92園で予算が約103億円。
- ・ 令和8年度には109億円を超える見込みである。
- ・ 海老名市は人口14万人。大和市は24万人で、茅ヶ崎市を抜いて県内で7番目に多い。
- ・ 神奈川県内で人口が増えているのは横浜市、川崎市、海老名市、大和市だけである。
- ・ 人口が伸びている海老名市の保育園は50～60園である。
- ・ 大和市は92園あるが、幼稚園、保育園で定員割れを起こしつつある。
- ・ 待機児童ゼロというのは4月1日時点で、1週間～10日もするとゼロでなくなっているの、ゼロを目指すのではなく、現場の声をしっかり聞きながらマッチングして、定員割れを無くしていくのが大事と考えている。
- ・ 幼稚園や保育園の現場、保護者の声をしっかりと聴いていく。

**【参加者】**

- ・ 財政健全化にあたり、このようなタウンミーティングを行うのはとても好ましいことだと思っている。
- ・ 説明の中で、大和市固有の問題と、日本全体の問題が同列に述べられていたが、ここは大和市固有の問題に特化した方がよいと思う。
- ・ 歳入と歳出の問題については、一般論になるが民間企業も同じで、歳入アップよりも歳出カットの方が半分以下の労力で済む。
- ・ 財政健全化が喫緊の課題なのであれば、歳出削減に集中して議論したほうが合理的と感じている。
- ・ 今回、A I と市政に関して予習したところ、大和市はよい市政を真面目にや

り過ぎて都市規模とのバランスが崩れている、身の丈に合わない、これは失敗ではなく、副作用であるとAIは分析した。

- ・市内部での検討、タウンミーティングと同時に、AIを活用してみるのもよいのではないかと思う。

#### 【市長】

- ・大和市はシリウス、ポラリス、やまと公園など公共施設を充実させてきた。
- ・市民にとってうれしいことであり、シリウスを例にとれば、図書館、子育て支援、文化芸術など、市民の皆さんに喜んでいただけるものである。
- ・残念ながら、これらの施設はお金を稼ぐものではなく、維持管理コストは常に発生し、人件費や物価の高騰に伴って増加している。
- ・県内他市で財政が豊かなところは厚木市、海老名市で、これは企業誘致をしてきたからである。
- ・企業誘致は調整区域で土地が安いところであっても、企業が立地すれば固定資産税、法人市民税が入るようになり、そこで働く若い人が市内に住むようになるのと福祉費が抑えられる。
- ・そういう意味で稼げるというポイントはあと思う。
- ・大和市は今まで東京、横浜のベッドタウンとしてやってきたが、今の時代は大きな工場ではなく、土地の狭い大和市でも誘致できる、AIなどデジタル分野の様々な先端技術を持つ企業を呼び込みたい。
- ・企業誘致には時間がかかるので、まずは、歳出削減をしっかりとやっていく。
- ・ひとつ皆さんにお伝えしたいのは、大和市は職員を徹底的に減らし、それを財源にして市民サービスを進めてきたので、今、非常に苦しい状態となっている。
- ・大和市の現在の職員定数は1033人、人口がほぼ同じ茅ヶ崎市の職員定数は1150人で、120人ほど多い。
- ・大和市は少ない人数でも非常に頑張ってくれている。
- ・定数も少ないし給料も安いとなると、ほかの自治体に職員が行ってしまうので、職員を守らなければならないのだが、まずは、職員一丸となって歳出削減に取り組んで未来につなげていきたいと考えている。

#### 【参加者】

- ・財政健全化ビジョン本体のP14に「物件費も特に平成28年度にシリウスが完成した際に大きく伸び、その後令和4年度まで毎年上昇を続けており、市財政を圧迫してきました」とある。
- ・シリウスができたことによって物件費が伸びたのだということだが、シリウスの計画のときの物件費の予想と大きく違っていたのか。
- ・シリウスのほか、ポラリスなども含め、物件費は物価の上昇で増えてきたのか、そうではない他の要因で増えてきたのか確認したい。

#### 【市長】

- ・シリウス、ポラリス、渋谷、桜丘、つきみ野といった各学習センターを含め、

やまとみらいを指定管理者に指名し、指定管理料の総額は10.7億円となっている。

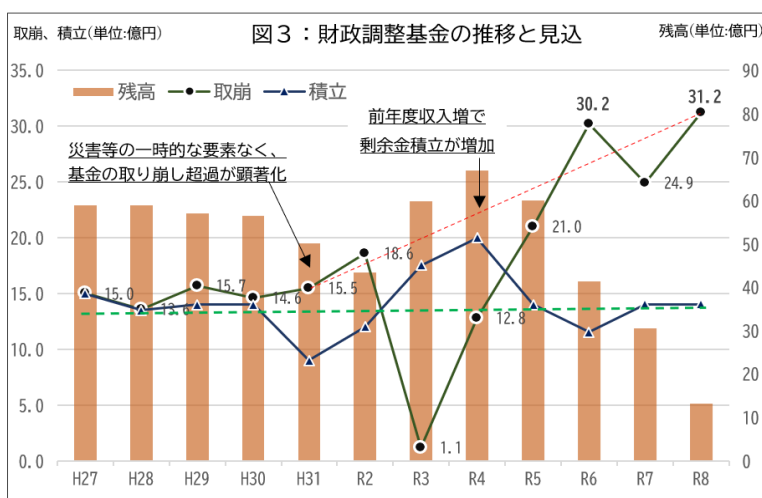
- ・ やまとみらいの指定管理は5年契約で、令和8年度に再契約するにあたり、指定管理料が13億円に増えるといわれていたところ職員が交渉を重ね、従事人数の減、掃除回数の減など仕様を見直して、増額することなくこれまでと同じ金額に据え置くことができた。
- ・ シリウスの物件費は前からわかっていたのではということについては、前の中央文化会館（旧生涯学習センター）と旧図書館のランニングコストが2施設合わせて約4億円かかっていた。
- ・ シリウスは、この2施設よりも約3億円多いが、以前からあった生涯学習センター、図書館だけでなく、子育て広場が新設され、メインホールも旧生涯学習センターの600人から1007人に増え、そういった付加価値を考えると、求められた市民ニーズに応じたという点では良かったと考えている。
- ・ これからも物件費は伸びていくことが予測されるが、内容を精査して歳出を抑制していきたい。
- ・ こういったところは覚悟を決めてやっていくしかないと思っている。

#### 【参加者】

- ・ 財政調整基金の取り崩しについて、令和3年にかけて減って、その後、急に増えてきた要因があれば教えていただきたい。
- ・ 人件費が約140億円に対して、業務委託費が約100億円ということで、業務委託が多い印象である。
- ・ 職員が行う場合の人件費と、委託費の比較をしたことはあるのか。

#### 【財政健全化プロジェクトリーダー】

（財政健全化ビジョンP4の図3をスクリーンに投影）



- ・ 財政調整基金について、R3に1.1と表記しているのは、令和3年度の取崩額が1.1億円であったことを意味している。
- ・ その前年（令和2年度）の取崩額は18.6億円であり、なぜこれほどの差が生まれたのかというと、コロナ禍で事業を中止したことで歳出が減り、地方

交付税により歳入が増えたことによる。

- ・令和4年度の取崩額が12.8億円になったのは、前年度の収入増により剰余金積立が増加したことによるもの。
- ・図の真ん中にある点線は、財政調整基金取崩額の過去からの平均値が約14億円であることを示している。
- ・本市は地方財政法の規定に基づき、毎年の決算剰余金の2分の1を下回らない額を積立てており、取崩額がこの約14億円と同程度であれば、財政調整基金の残高は減らずに推移する。
- ・令和3年度、4年度は、取崩額が下回ったが、財政構造が変わっていないため、令和5年度以降は、コロナ明けで事業が再開されたこともあり取崩額が増えている。

#### 【市長】

- ・私から補足すると、財政調整基金残高が増えたのは、コロナ禍で事業を全部止めた結果、お金が余ったので67億円に増えた。
- ・さらに国からの交付税や特例交付金といった増収もあり、この時点に限っては財政が潤ったのだが、財政構造は変わっていないため、コロナ明けで事業を再開すると取り崩しが増えてきた。
- ・こういったこともあり、今、職員が一丸となって財政構造を変えようと頑張っている。
- ・委託費が多いのは、大和市の職員は人口比で他市よりも少ないためである。
- ・これまでは人手が足りない部分を委託に出してきたのだが、これからは職員ができるものは職員でやっとうと考えている。
- ・他の地域では、大和市よりも財政が厳しく、人口減少もあり職員が少ない自治体があり、職員がなんでもやるしかない状況でも、なんとか頑張っている。
- ・大和市も委託を少しずつ減らして職員数を適正化して、その上で職員がやれることは職員が行い、できない部分を委託に出すという形にしていきたい。
- ・これから構造改革し、少しでも財政を変えていきたい。
- ・職員が少ないから職員の負担が大きいのではないかとと言われることが多い。
- ・東京都、横浜市、川崎市など財政が豊かな方に職員が行ってしまう。
- ・優秀な人材を確保し育成していくためには、職員数を他市並みにしていけないといけないのだが、これからの少子高齢化時代はDXで職員の仕事も減っていく可能性があるため、いたずらに職員を増やすということではなく、適正数をしっかりと判断していきたい。

#### <グループワーク（対話）>

- ・限られた時間で有意義な意見交換するため、以下の6点をお願いした。
  - ①「話す」こと以上に「聴く」を大切にする。
  - ②“否定せず”に耳を澄ませる。
  - ③自分だけが正しいと思わず断定しない。
  - ④付箋への落書きで意見のメモを残す。

- ⑤ 話したくないかたは、聴く中心でも構わない。
- ⑥ 特定の誰かが話し過ぎてしまって、他のかたが話せないときは、話し手を変わっていただく場合がある。
- ・ A～Cの3グループで、自己紹介（大和市で好きな場所、タウンミーティングに参加した理由）後、財政健全化ビジョンの説明、6つのお願いを踏まえて意見交換。
- ・ 各グループで意見をまとめ、以下の発表があった。

### <グループ意見発表>

#### 【Aグループ】

- ・ 福祉に力を入れているのはよい点であるが、その分コストがかかっている。
- ・ 全体的にコストがかかっているということを踏まえて、縮小はやむなしという意見が多かった。
- ・ 公共施設を整備したからといって、ずっとこのまま維持していくのは難しいので、考え方を変えるべきではないか。
- ・ 今日小学生にもご参加いただいており、とても切なく涙ぐましい意見として、学校の環境が悪くて暖房が効かないけど、令和9年度に財源がなくなるのであれば我慢するとの発言もあった。
- ・ ふるさと納税といった収入増につながる市の魅力について、周知やPRをもっと工夫する必要があるのではないか。

#### 【市長】

- ・ 出ていくお金は決まっているので、考え方を変えていくということであると、ここシリウスの6階は間仕切りして生涯学習センターにしているが、土日の稼働率はよいが、平日はあまりよくない。
- ・ 大和市は宴会やパーティなどができる場所がないので、大和市の団体であっても、懇親会などは海老名市で行われることが多いので、稼働率という点では、見晴らしがよいシリウス6階の間仕切りを可動式にしてバンケットホールにするという考え方もできる。
- ・ 市内の飲食店にケータリングしてもらい、給仕する人も出してもらうことができれば、会場使用料の収入を得られるかもしれない。
- ・ シリウスだから何もできないということではなく、発想の転換をして考えていきたい。
- ・ 現実的には難しいことであるが、ありえないことを実現しようという感覚を持ってやっていく。
- ・ 学校の空調について、市のために我慢するというお気持ちをととてもありがたい意見として受け止めている。
- ・ こどもたちに我慢させることがないように、しっかりと冷暖房が効く施設管理に努めていく。
- ・ ふるさと納税に関して、大和市は約10億円流出している。
- ・ 翌年度の地方交付税で75%が国から補填されるが、約3億円は流出してい

る。

- ・大和市が選ばれる市になるためにも、大和市ならではのオンリーワンとなる商品を、農業、工業、商業の皆さんと話し合っ作っていきたい。

#### 【Bグループ】

- ・財政健全化について、市民への説明も大切であるが、市民からの意見をしっかりまとめ上げていくのが市長の仕事ではないか。
- ・他市のモデルケースを真似て、徹底的にコストカットすべきである。
- ・基地を抱えているのに何で財政が苦しいのかという疑問の声もあった。
- ・スマートインターチェンジを活用できたのではないか。
- ・人が集まる街おこしの仕掛けを作って大和市にお金を落としてもらうような仕組みが必要である。
- ・プラごみの排出マナーが悪くカラス被害がひどいので、予算がかかる話だと思うが戸別収集をしてほしい。

#### 【市長】

- ・財政健全化に向けて、市民の声をしっかりと聴いていく。
- ・他市のモデルケースとしては、財政健全化に取り組んでいた相模原市に出向き取組内容について学び、その他の事例も研究しながら財政健全化に取り組んでおり、しっかりと分析して市民の皆様に発信していく。
- ・厚木基地は空母艦載機移駐により騒音が減少しているため、防衛省の交付金が減少傾向にある。
- ・防衛省の交付金は学校施設の整備に使っていたので、国に学校の整備分は減らさないよう訴えている。
- ・にぎわいに関して、大和駅のプロムナードは東西で約1キロメートルある。
- ・大和駅前空間があるので、イベント、催しを、今のやり方に囚われずに、市民といっしょに新しいものをやっていきたい。
- ・お隣の瀬谷区で花博が行われ、その後にテーマパークも控えているので、大和市も組み込んで世界の人々が来るような仕掛けをしていきたいと思っている。
- ・ごみに関して、資源リサイクルは市民の負担で成り立っている。
- ・資源リサイクルに関する市民の負担を少しでも減らせることができないか、職員と一丸となって検討しているところである。

#### 【Cグループ】

- ・扶助費が他市よりも多いから手を付けたほうがいいが、闇雲に削るのではなくて、他自治体での規模とか大和市の人口規模を見ながらバランスをとって調整をしないとイケない。
- ・同じく扶助費について、闇雲に削減して他自治体よりも劣る内容になるのは恥ずかしいので、それはやらないでほしいという意見もあった。

- ・ 物件費を抑えるためには、シリオスの指定管理料10億円をワンパッケージではなくて、業務内容を細かいところまで精査して適正な物件費にすべきではないか。
- ・ 歳入の強化として、企業誘致、受益者負担の適正化も必要。
- ・ 無料で使用できる公共施設を有料化するべきである。
- ・ 今後、財政健全化を進めるにあたり、何かしらを削減しないといけなくなった場合、市民に対して、なぜその事業を削減することになったのか、何が他自治体よりも突出しているのかを丁寧に説明しないと納得感は得られない。
- ・ 大和駅周辺の治安がよくないために予算が割かれるのであれば、治安をよくして支出を抑えることも必要ではないか。
- ・ 財政健全化ビジョンについて、市公式ホームページの掲載場所がなかなか見つけれなかったもので、多くの市民に見てもらえるように、わかりやすく工夫するべきである。

#### 【市長】

- ・ 扶助費が他市より突出しているところがあれば、他市並みにすることも考えなければならぬが、市民、団体、その他関係する皆さんが全く知らなかった、知らないうちに削減されていたということがないように、丁寧に説明していかなければならないと思っている。
- ・ 物件費について、シリオスなどのランニングコストは、今回見直ししている中で、本来なら人件費や光熱水費などが上がっている中で、次期指定管理料が約3億円上がるはずだったが、それを徹底的に見直しして3億円上げずに5年前の指定管理料と同額に抑えることができた。
- ・ シリオスに限らず他の施設も人件費、水道光熱費が上がっており、やり方、業務の仕様を見直して少しでも経費削減ができる形をとっていきたい。
- ・ シリオスのホール事業は実績、経験、人脈が豊富なサントリーが請け負っているので、大和まで来てくれないようないろいろなコンサートや演劇などが実現できているのだが、業務に必要な予算は高くなる。
- ・ 高いからといって、経験も人脈もない市が直営でホール運営をしたときに、今と同じような価値あるものに来てもらえるのかという問題がある。
- ・ この部分をどのようにすべきか、様々な観点から考えていきたい。
- ・ シリオス3階の屋内こども広場は全国的に有名でブランド力を持つポーネルンドが運営しているので、市民も市外の人もたくさん来ている。
- ・ そこを削減することは簡単であるが、ポーネルンドの名前は使えなくなるというマイナス効果があるかもしれない。
- ・ そうした点を考慮しつつ、全体のバランスを見ながら見直しを進めていきたい。
- ・ 大和駅周辺の治安があまり良くないという点は、私も思うところがあり、市長に就任してから、まずはごみのないきれいなまちを目指すということで、ごみ拾いとスポーツを融合した「スポごみ」、それをさらに発展させた「LUCKY GET大作戦」を実施している。

- ・ ごみを拾うのは運を拾うという大谷翔平選手の考えを共有し、皆でごみを拾うことでまちの治安もよくしていく割れ窓理論の考え方も踏まえ、職員や関係団体と一丸となって取り組んでおり、大和市がきれいで住みやすいまちになるために、皆さんもごみ拾いに関心を持っていただきたい。

以上